
それぞれの不満

夏川龍治

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

それぞれの不満

【Nコード】

N9652P

【作者名】

夏川龍治

【あらすじ】

ごく平凡な家庭に潜む、いくつもの秘密。

夫の満雄が残業を終えて家に帰ると、ダイニングテーブルには妻の手料理が並べられていた。息子の雄太はもう夕食をすませたらしく、リビングのテレビを占領してゲームに興じている。

妻の多恵子は愉しげな微笑を浮かべて、

「お帰りなさい、あなた。今日も腕によりをかけておいしい料理を作ったわよ」

「ああ、ありがとな」

多恵子に気付かれないようにため息をついて、満雄は料理に手をつけた。今日の夕食は肉じゃがが。いつものことながら、味が薄い。肉をたべても芋をたべても、味のないスポンジを噛んでいるような感触しか残らない。かろうじて食事の楽しみを与えてくれるのは、ご飯とビールだけだ。

「最近、田中さんの家のシロが全然ほえなくなったのよ。どうしたのかしらね」

「病気でもしたんじやないのか」

多恵子の他愛のない世間話にも、適当に相槌をうつておく。

多恵子には内緒だが、駅前の定食屋に立ち寄って、空腹がある程度満たしてから帰宅することになっている。あの店の肉じゃがは絶品だ。あれを食べるために、毎日あくせく働いているといつてもいい。もちろん、こんなことは多恵子には絶対に言えないのだが……。

夕食後、軽くシャワーを浴びて、満雄はベッドに入った。ひさしぶりに夫婦の甘いひとときを……満雄が多恵子のネグリジエの胸元をまさぐると、彼女の息遣いが荒くなる気配があった。

交わりは十分足らずで終わった。若い頃はもつとたっぷり愛し合っていたはずなのだが、やはりトシには勝てないのか、最近ではたった十分の交わりでも息がきれる。汗もやたらとかくようになってた。このままでは気持ち悪いから、もう一度シャワーを浴びてくる

か。

満雄が寝室から出た後、多恵子が気だるそうに裸の半身を起こした。

ああもう、今日もあつという間に終わっちゃったじゃないの。もうちょっと愉しみたいって時に、いつも自分だけ満足して終わっちゃうんだから。若い頃はもっと時間をかけて満足させてくれたのに……。

まあ、いいわ。平日の昼間、旦那と息子がいない間に、新聞配達の子とステキな時間を過ごせるんだから。今日だって、彼が何度も私を満足させてくれたのよ。毎日家事に追われているんだから、このくらいの楽しみは許されて当然よね。

満雄がシャワーを浴びてリビングに降りると、雄太がまだテレビゲームに没頭していた。

「何時だと思ってるんだ。いい加減に自分の部屋で寝ろ」

満雄が叱りつけると、雄太は不満げに舌うちをしながらもゲームを片付け、自分の部屋へと引き上げた。

何を考えてるんだ、あいつは。夜遅くまでテレビゲームに夢中になるとは、不健全の極みじゃないか。近頃は、モンスターと呼ばれる患者を容赦なく駆逐していくという、残虐きわまりないゲームが流行しているらしい。そして、うちの息子もご多分に洩れず、そうしたゲームに熱をあげているようだ。いくら仮想空間の中とはいえ、生物をむやみに駆除するような行為は人間として好ましいものではない。できることならすぐにでもゲームを取り上げたいが……そのあたりのことは多恵子に任せることにしよう。

自室のベッドに横になっても、雄太はゲームを中断させられた苛立ちのため、なかなか寝つくことができなかった。

まったく、口うるさい父親だ。明日は休みなんだし、何時までゲームをやるうとこっちの自由じゃないか。もう少しで大ボスを倒せるところだったのに……。大人は本当に、子どもの楽しみってヤツがわかってない。

でも、いいんだ。ゲームはどうせバーチャルなお遊びだつてことぐらい、ちゃんとわかってるんだから。だから僕は、近所の野良犬を適当に痛めつけて、ストレスをうまく発散させているんだ。そうでもしなきゃ、くだらない勉強に追いまくられる毎日なんてたえられないよ。

野良犬いじめって、マジでスリルがあるんだぜ。クラスの友達にもすすめてやりたいよ。まあ、近所の田中さんの犬をいじめすぎて死なせちゃった時はさすがにちょっと悪い気はしたけどさ……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9652p/>

それぞれの不満

2011年1月8日21時43分発行